

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平11-341561

(43) 公開日 平成11年(1999)12月10日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I
H 0 4 B 7/26

109H

(21) 出願番号 特願平10-149847

(22) 出願日 平成10年(1998)5月29日

(71) 出願人 000003078

株式会社東芝

神奈川県川崎市幸区堀川町72番地

(72)発明者 塚本 朗人

東京都日野市旭が丘3丁目1番地の1 株
式会社東芝日野工場内

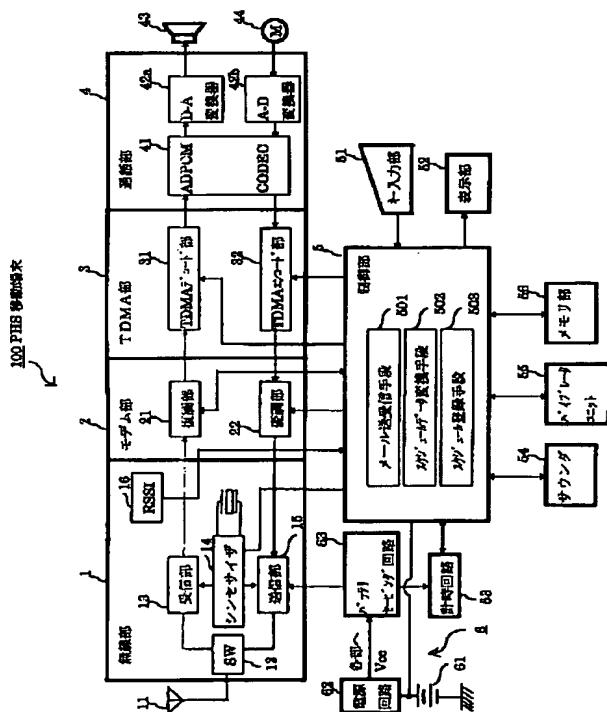
(74)代理人弁理士 村木 高久

(54) 【発明の名称】 通信端末

(57) 【要約】

【課題】 スケジュールデータをメールデータとして入力することなく相手端末に送信でき、また、受信したメールデータをスケジュールデータに変換して登録できるようになる。

【解決手段】 P H S 移動端末 1 0 0 において、メール送受信手段 5 0 1 は、スケジュールデータ転送発信操作に基づき、自己のスケジューラから読み出したスケジュールデータをスケジュールデータ変換手段 5 0 2 によりメールデータに変換して相手先端末に送信する。また、メール送受信手段 5 0 1 は、相手端末からメールデータを受信すると、該受信データ中の所定識別コードを基にスケジュールデータであるか否かを識別し、スケジュールデータであれば、登録操作を待って、該受信データをスケジュールデータ変換手段 5 0 2 によりスケジュールデータに変換してスケジューラに登録する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 メッセージデータを送信するメッセージ送信手段と、

スケジュールデータを登録可能なスケジューラ機能を有する通信端末に対して送信するスケジュールデータを前記メッセージデータに変換するデータ変換手段と、このデータ変換手段が変換したメッセージデータを前記送信手段が相手先への送信制御を行う制御手段とを有することを特徴とする通信端末。

【請求項 2】 メッセージ送信手段は、発サブアドレス情報及び着サブアドレス情報を送信する通信手順を有し、前記メッセージデータに変換されたスケジュールデータを前記発サブアドレス情報及び着サブアドレス情報を用いて送信することができることを特徴とする請求項 1 記載の通信端末。

【請求項 3】 スケジュールデータを登録し、該登録データを表示確認できるスケジューラ機能を有する通信端末において、

メッセージデータを受信するメッセージ受信手段と、このメッセージ受信手段が受信したメッセージデータをスケジュールデータに変換するデータ変換手段と、このデータ変換手段が変換したスケジュールデータの登録制御を行う制御手段とを有することを特徴とする通信端末。

【請求項 4】 メッセージ受信手段が受信したメッセージデータがスケジュールデータであるか否かを判定する判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づき、前記スケジュールデータを受信した旨を報知する報知手段とを具備し、前記制御手段は、前記報知手段による報知後、前記データ変換手段が変換したスケジュールデータの登録制御を行うことを特徴とする請求項 3 記載の通信端末。

【請求項 5】 メッセージ受信手段は、発サブアドレス情報及び着サブアドレス情報を受信する通信手順を有し、前記メッセージデータに変換されたスケジュールデータを前記発サブアドレス情報及び着サブアドレス情報を用いて受信することができることを特徴とする請求項 3 記載の通信端末。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、スケジュールデータを登録し、該登録データを表示確認できるスケジューラ機能を有する通信端末装置に係わり、詳しくは、自端末に登録されているスケジュールデータを相手先端末に送信し登録可能にするためのスケジュールデータ伝送方法の改良に関する。

【0002】

【従来の技術】 例えば、PHS (Personal Handyphone System) 移動端末等の移動無線端末においては、ユーザに係わる各種スケジュールを開催日時や開催場所等と関

連付けてスケジュールデータとして登録しておき、必要に応じて該スケジュールデータを読み出して表示部に表示して確認できる機能（以下、スケジューラという）を有したものがある。

【0003】 ここで、上記スケジューラに登録されているスケジュールが例えば営業会議など、他の人にも関わるスケジュールである場合がある。

【0004】 従来技術においては、所定データをメッセージ情報として送受信する機能はあるが、例えば、受信 10 したメッセージ情報を自端末におけるスケジューラに登録することはできず、受信したメッセージ情報を表示部への表示等で確認した後、スケジュールデータとして自端末に登録し直さなければならなかった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 このように、従来システムでは、ある端末に登録されたスケジュールデータを相手先端末に送信して登録する場合、送信側では、相手先端末に伝えようとするスケジュールデータを一旦メールデータとして入力し、受信側では、受信したメールデータをスケジュールデータとして入力し直す必要があり、送信側及び受信側共に煩雑な入力操作を強いられる 20 という問題点があった。

【0006】 本発明は上記問題点を解消し、相手先端末からメールデータを受信した場合、該受信メールデータをスケジュールデータに変換して登録でき、受信メールデータをスケジュールデータとして入力し直す必要のない通信端末を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するため 30 に、請求項 1 の発明は、メッセージデータを送信するメッセージ送信手段と、スケジュールデータを登録可能なスケジューラ機能を有する通信端末に対して送信するスケジュールデータを前記メッセージデータに変換するデータ変換手段と、このデータ変換手段が変換したメッセージデータを前記送信手段が相手先への送信制御を行う制御手段とを有することを特徴とする。

【0008】 請求項 2 の発明は、請求項 1 の発明において、メッセージ送信手段は、発サブアドレス情報及び着サブアドレス情報を送信する通信手順を有し、前記メッセージデータに変換されたスケジュールデータを前記発サブアドレス情報及び着サブアドレス情報を用いて送信する 40 ことを特徴とする。

【0009】 請求項 3 の発明は、スケジュールデータを登録し、該登録データを表示確認できるスケジューラ機能を有する通信端末において、メッセージデータを受信するメッセージ受信手段と、このメッセージ受信手段が受信したメッセージデータをスケジュールデータに変換するデータ変換手段と、このデータ変換手段が変換したスケジュールデータの登録制御を行う制御手段とを有することを特徴とする。

【0010】 請求項 4 の発明は、請求項 3 の発明において、メッセージ受信手段が受信したメッセージデータがスケジュールデータであるか否かを判定する判定手段と、前記判定手段の判定結果に基づき、前記スケジュールデータを受信した旨を報知する報知手段とを具備し、前記制御手段は、前記報知手段による報知後、前記データ変換手段が変換したスケジュールデータの登録制御を行うことを特徴とする。

【0010】請求項4の発明は、請求項3の発明において、メッセージ受信手段が受信したメッセージデータがスケジュールデータであるか否かを判定する判定手段と、前記判定手段の判定結果に基づき、前記スケジュールデータを受信した旨を報知する報知手段とを具備し、前記制御手段は、前記報知手段による報知後、前記データ変換手段が変換したスケジュールデータの登録制御を行ふことを特徴とする。

【0011】請求項5の発明は、請求項3の発明において、メッセージ受信手段は、発サブアドレス情報及び着サブアドレス情報を受信する通信手順を有し、前記メッセージデータに変換されたスケジュールデータを前記発サブアドレス情報及び着サブアドレス情報を用いて受信することができる特徴とする。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について添付図面を参照して詳細に説明する。図1は本発明に係わるPHS移動端末100の構成を示すブロック図である。このPHS移動端末100は、アンテナ11を備えた無線部1と、モデム部2と、TDMA (Time Division Multiple Access) 部3と、通話部4と、制御部5と電源部6とを備えて構成される。更に、制御部5に付属するものとして、キー入力部51、液晶表示部52、計時回路53、サウンダ54、バイブレータユニット55、メモリ部56が設けられる。

【0013】このPHS移動端末100において、家庭用基地局BSHまたは公衆用基地局BSPから到来した無線周波信号は、アンテナ11で受信された後、無線部1の高周波スイッチ(SW)12を介して受信部13に入力される。受信部13では、上記受信された無線周波信号が周波数シンセサイザ14から発生された受信局部発振信号とミキシングされて受信中間周波信号に周波数変換される。なお、上記周波数シンセサイザ14から発生される局部発振周波数は無線チャネル周波数に応じて制御部5より指示される。また、無線部1には、受信電界強度検出部(RSSI)16が設けられている。この受信電界強度検出部16では、家庭用基地局BSHまたは公衆用基地局BSPから到来した無線周波信号の受信電界強度が検出され、その検出値は制御部5に通知される。

【0014】受信部13から出力された受信中間周波信号は、モデム部2の復調部21に入力される。復調部21では、上記中間周波信号のデジタル復調が行われ、これによりデジタル通話信号が再生される。

【0015】TDMA部3のTDMAデコード部31は、制御部5の指示に従って、自装置に割り当てられたタイムスロットからデジタル通話信号を抽出し、この抽出したデジタル通話信号を通話部4に入力する。通話部4は、適応差分PCMコーデック(ADPCM-CODEC)41[PCMコーデック(PCM-CODE

C)を含む]とD/A変換器42a及びA/D変換器42bとから成り、上記デジタル通話信号はこの適応差分PCMコーデック41で復号化され、D/A変換器42aを介してアナログ通話信号として再生される。そして、このアナログ通話信号は図示しない受話増幅器で増幅された後、スピーカ43から拡声出力される。

【0016】一方、マイクロホン44から入力された送話音声は、A/D変換器42bを介してデジタル信号化され、通話部4のPCMコーデック42で符号化され10てデジタル通話信号となる。TDMA部3のTDMAエンコード部32では、適応差分PCMコーデック41から出力されたデジタル通話信号が制御部5から指示されたタイムスロットに挿入されて、モデム部2の変調部22に入力される。変調部22では、上記デジタル通話信号により搬送波信号がデジタル変調され、この変調された搬送波信号は無線部1の送信部15に入力される。送信部15では、上記変調された搬送波信号が周波数シンセサイザ14から発生された送信局部発振信号とミキシングされることにより、制御部5より指示された無線チャネル周波数に周波数変換され、更に所定の送信電力レベルに増幅される。そして、この送信部15から出力された無線周波信号は高周波スイッチ12を介してアンテナ11から家庭用基地局BSHまたは公衆用基地局BSPに向け送信される。

【0017】電源部6は、二次電池から成るバッテリ61と、このバッテリ61の出力電圧を基に所定の動作電圧Vccを生成する電源回路62と、バッテリセービング回路63とから構成される。バッテリセービング回路63は、例えばスイッチ回路から成り、制御部5から指定された間欠受信周期に従って、無線部1及び計時回路53に対する動作電圧Vccの供給を間欠的にオンオフする。なお、バッテリセービング回路63によるバッテリセービング方式には、動作電圧Vccを印加したまま動作クロックを間欠的にオンオフするものもある。

【0018】計時回路53は、上記バッテリセービング回路63から供給される動作電圧Vccにより動作し、例えばプリセット端子付きのカウンタから成る。そして、このカウンタで基準クロックをカウントすることにより、現在時刻や通話時間等を表す計時データを出力する。

【0019】制御部5に付属して設けられるもののうち、キー入力部51は、複数のキーを有し動作制御等に必要な各種情報を入力するものである。表示部52は液晶表示器(LCD)から成り、上記キー入力部51からの入力情報や上記動作制御等に係わる各種情報を表示するものである。サウンダ54は着信音を報知するものであり、バイブレータユニット55は着信等を振動で報知するものである。メモリ部56は、動作プログラムや電話番号あるいは後述するスケジュールデータ等の各種情報を記憶するものである。

【0020】制御部5は例えばマイクロコンピュータを主制御部として備えたもので、無線チャネルアクセス制御手段や発着信制御手段、通話制御手段、バッテリセービング制御手段等の通常の制御機能を少なくとも有している。この他、制御部5には、当該端末100のユーザに関する各種スケジュールデータを例えばメモリ部56の所定エリアに登録しておき、必要に応じて該スケジュールデータを読み出して表示部52に表示させるスケジューラを制御するための機能が備わる。

【0021】更に、本実施の形態において、制御部5には、自己のスケジューラに登録されているスケジュールデータまたはユーザにより新規に作成されたスケジュールデータを、相手端末においてスケジュールデータとして認識できるフォーマットであるメールデータに変換して任意の相手端末に送信するとともに、相手端末から受信されたメールデータをスケジュールデータに変換して自己のスケジューラに登録するための制御機能が備わる。

【0022】このスケジュールデータ送受信制御機能は、同図における制御部5内に示す、メール送受信手段501、スケジュールデータ変換手段502、スケジュール登録手段503により実現される。すなわち、メール送受信手段501は、スケジュールデータをメールデータとして送信または受信するための制御を行う。なお、このメールデータの送受信においては、発サブアドレス情報及び着サブアドレス情報を送受する通信手順が用いられる。

【0023】スケジュールデータ変換手段502は、メールデータ送信時には、自己のスケジューラに既に登録されているスケジュールデータまたはユーザにより新規作成されたスケジュールデータをメールデータに変換してメール送受信手段501に渡し、メールデータ受信時には、メール送受信手段501により受信されたメールデータをスケジュールデータに変換し、スケジュール登録手段503に渡す等の処理を行う。スケジュール登録手段503は、キー入力部51により入力されるスケジュールデータを自己のスケジューラにそのまま登録する他、相手先から送られてきたスケジュールデータ（メールデータ受信時にスケジュールデータ変換手段502から渡されるスケジュールデータ）を自己のスケジューラに登録する処理を行う。

【0024】以下、このPHS移動端末100におけるスケジュールデータ送受信動作について説明する。まず、このPHS移動端末100におけるスケジュールデータ送信動作は図2に示すフローチャートに従って実施される。

【0025】このPHS移動端末100において、制御部5は、ユーザの所定の設定操作に基づきスケジュールデータ転送発呼モードを設定した後（ステップ201）、ユーザに対し、既に登録済みのスケジュールデータを送るものか新規に作成したスケジュールデータを送るものかを指示することを促す。

【0026】これによりユーザから所定の指示があると、制御部5は、その指示内容を基に、登録済みスケジュールデータを送るものか新規作成スケジュールデータを送るものかを判断する（ステップ202）。

【0027】そして、登録済みスケジュールデータを送るものであれば（ステップ202NO）、上記指示に付随して指定される登録済みスケジュールデータをメモリ部56から読み出す（ステップ203）。また、新規作成スケジュールデータを送るものであれば（ステップ202YES）、上記指示に続きユーザにより入力されるデータを基に相手端末に送ろうとするスケジュールデータを作成する（ステップ204）。

【0028】その後、制御部5は、ユーザによる転送開始操作を待ち、この間に、スケジュールデータを送ろうとする相手先電話番号の入力、転送開始ボタン押下等の転送開始操作がなされた場合（ステップ205YES）、メール送受信手段501を起動し、ステップ205で入力された相手先電話番号に基づき相手先端末へ発信する（ステップ206）。

【0029】上記発信後、メール送受信手段501は、所定の通信手順により、上記ステップ203またはステップ204にて用意されたスケジュールデータを相手先端末に送信する制御を行う。具体的に、メール送受信手段501は、上記通信手順開始後、スケジュールデータ変換手段502を起動する。これにより、スケジュールデータ変換手段502は、上記ステップ203またはステップ204にて用意されたスケジュールデータをメールデータに変換し（ステップ207）、メール送受信手段501に渡す。更に、メール送受信手段501は、スケジュールデータ変換手段502から渡されたメールデータを、上記通信手順信号の1つである例えば呼設定信号中の発サブアドレス情報及び着サブアドレス情報内に組み込み（ステップ208）、相手先端末へと送出する（ステップ209）。

【0030】図3は、ステップ208でのメールデータ送信に用いられる呼設定信号のフォーマットを示す図である。同図に示す如く、この呼設定信号は、各々23オクテット(Oct)ずつの発サブアドレス情報と着サブアドレス情報によって構成される。このうち、発サブアドレス情報は、発サブアドレス情報要素識別子、内容長、サブ種別、識別コード、メールデータA等によって成る。識別コードには、当該呼設定信号にて送ろうとするメールデータがスケジュールデータであるか否かを識別する情報が書き込まれる。また、メールデータAとして、この例では、相手先端末に送ろうとするスケジュールデータに関する日付／時刻情報、イラストパターン、メロディパターン等が書き込まれる。日付／時刻情報には、毎情報「（指定年月日時分）」、（毎年、指定月日時

分)、(毎月、指定日時分)、(毎日、指定時分)」、年情報(千位、百位、十位、一位)、月情報(上位、下位)、日情報(上位、下位)、時情報(上位、下位)、分情報(上位、下位)がある。イラストパターンには、スケジュール内容(文字)と一緒に表示するイラストのパターンを指定するコード情報が書き込まれる。同じく、メロディパターンには、スケジュール確認等に際して文字を表示する際に鳴らすメロディのパターンを指定するコード情報が書き込まれる。

【0031】また、着サブアドレス情報は、着サブアドレス情報要素識別子、内容長、サブ種別、メールデータB等によって成る。メールデータBとして、この例では、相手先端末に送ろうとするスケジュールデータのうちの内容部分(文字メッセージ)が書き込まれる。

【0032】このように、本発明では、図3に示す呼設定信号中の発サブアドレス情報及び着サブアドレス情報を用いることによって、自己の端末に登録されているスケジュールデータあるいは新規に作成されたスケジュールデータをメールデータとして相手先端末に送信でき、その際に、ユーザは、従来のように、スケジュールデータをメールデータとして入力する必要が無くなる。

【0033】次に、このPHS移動端末100におけるスケジュールデータ受信動作について図4に示すフローチャートを参照して説明する。このPHS移動端末100において、待ち受け中、着信があると(ステップ401YES)、制御部5は所定の通信手順により着信応答処理を行う。この着信応答処理において、制御部5は、受信された呼設定データ中にサブアドレスがあるか否かを判断する(ステップ402)。ここで、サブアドレスがなければ(ステップ402NO)、通常着信として処理する(ステップ406)。

【0034】また、サブアドレス(発サブアドレス情報及び着サブアドレス情報)が存在すれば(ステップ402YES)、メール送受信手段501を起動し、メール受信処理を開始する。初めに、メール送受信手段501は、発サブアドレス情報内の識別コード(図3参照)を基に、スケジュールデータか否かを判断する(ステップ403)。ここで、スケジュールデータでない場合(ステップ403NO)、メッセージデータ(通常のメールデータ等)受信であると判断し、当該メッセージデータ受信処理を行う(ステップ405)。

【0035】これに対し、スケジュールデータである場合(ステップ403YES)、制御部5は、表示部52に対し、スケジュールデータが受信されたことを報知するための「スケジュールデータ受信表示」を行う(ステップ404)。

【0036】続いて、受信データを表示するかキャンセルするかに関するユーザ操作待ちの状態に移行し(ステップ407)、ここでキャンセル操作がなされた場合(ステップ407でキャンセル操作)、この受信データ

を破棄し、処理を終了する。

【0037】一方、表示操作がなされた場合(ステップ407で表示操作)、受信データを表示部52に表示する(ステップ408)。続いて、受信データを登録するかキャンセルするかに関するユーザ操作待ちの状態に移行し(ステップ409)、ここでキャンセル操作がなされた場合(ステップ409でキャンセル操作)、この受信データを破棄し、処理を終了する。

【0038】また、登録操作がなされた場合(ステップ409で登録操作)、自スケジューラの登録データ(メモリ部56に登録されているスケジュールデータ)を検索し、受信データで指定される時刻別のスケジュールが登録されているか否かを判断する(ステップ410)。

ここで、受信データで指定される時刻にスケジュールデータが登録済みであれば(ステップ410YES)、「既にスケジュールが登録済みです」等の登録済み表示を表示部52に対して行い(ステップ411)、該受信データを破棄した後、処理を終了する。

【0039】尚、ステップ410で指定時刻にスケジュールデータ登録済みと判定された場合、受信データを破棄せず、ユーザが重複してスケジュールデータの登録を希望する場合は、重複してスケジュールを登録する処理を付加しても良い。

【0040】これに対して、受信データに一致するスケジュールデータが登録されていない場合(ステップ410NO)、該受信データをスケジュールデータ変換手段502によりスケジュールデータに変換し、スケジュール登録手段503により自スケジューラに登録した後(ステップ412)、処理を終了する。

【0041】このように、本発明では、相手側端末から発サブアドレス情報及び着サブアドレス情報(図3参照)を用いて送られてくるメールデータの識別コードを基にスケジュールデータであるか否かを判断し、スケジュールデータである場合には、当該受信メールデータをスケジュールデータに変換して自端末のスケジューラに登録でき、これによって、従来のように、受信したメールデータを改めてスケジュールデータとして自端末のスケジューラに入力する必要が無くなる。

【0042】次に、本発明に係わるPHS移動端末100を含むシステム全体としてのスケジュール送受信動作について図5を参照して説明する。図5は、ある端末(転送元PS)から対向する基地局CSを介して任意の相手先端末(転送先PS)にスケジュールデータを送信する時の接続シーケンスの一例を示す図である。

【0043】この場合、転送元PSでは、スケジュールデータ転送発呼準備段階(図2におけるステップ204に相当)で、転送先PSに送ろうとするスケジュールデータを新規に作成し(同、ステップ204に相当)、スケジュールデータ転送発信操作(同、ステップ205に相当)が行われるのを待って、メール送信手順を開始

する。初めに、転送元P Sは、基地局C Sに対して「リンクチャネル確立要求信号」を送出し、基地局C Sから「リンクチャネル割当信号」を受信することにより、「呼設定信号」を送出する。この時、図3に示したフォーマットに従い、その発サブアドレス情報及び着サブアドレス情報内にスケジュールデータA, Bを書き込んだ「呼設定信号」を生成し、これを基地局C Sに送出する。この「呼設定信号」に対して基地局C Sから「呼設定受付信号」を受信した後、基地局C Sからの「応答信号」の受信待ちとなる。

【0044】これに対し、基地局C Sは、転送元P Sから上記「呼設定信号」を受信した後、転送先P Sに対して「着呼報知信号」を送出する。転送先P Sではこの「着呼報知信号」により着信検出を行い(図4におけるステップ401に相当)、着信有りと認識することにより、基地局C Sに対して「リンクチャネル確立要求信号」を送出する。更に、転送先P Sは、上記「リンクチャネル確立要求信号」に対して、基地局C Sから「リンクチャネル割当要求信号」を受けた後、「着呼応答信号」を返送する。

【0045】これに対し、基地局C Sは、転送先P Sから上記「着呼応答信号」を受信することにより、転送元P Sより受信した「呼設定信号」を該転送先P Sに送出する。この「呼設定信号」を正常受信することにより、転送先P Sは、「呼設定受付信号」を送り返し、その後、基地局C Sから「呼出信号」を受信することにより、「応答信号」を返送し、更に、基地局C Sから「応答確認情報」の受信を待つ。

【0046】この間、転送先P Sは、受信した「呼設定信号」を基に、サブアドレスがあるかどうか、あるいはサブアドレスにスケジュールデータであることを示す識別コードが含まれるかどうかを監視し(同、ステップ402、403に相当)、サブアドレスがなければ、基地局C Sから「呼出信号」が受信されるのを待って、表示部52に対して着信表示を行う。この時、サウンダ54を通じて着信音も報知する。

【0047】これに対して、サブアドレスがあり、この中に上記識別コードが含まれている場合には、上記「呼出信号」に対して上記着信報知(着信表示及び着信音報知)は行わずに「応答信号」を返送し、この「応答信号」に対して基地局C Sから「応答確認信号」が受信されるのを待って、スケジュール受信があることを示すスケジュール受信表示(同、ステップ404に相当)を表示部52に対して行う。また、サブアドレスがあつても、その中に上記識別コードが含まれていない場合には、通常のメッセージ(メールデータ等)着信であることを示すメッセージ着信表示(スケジュール受信表示とは明確に区別し得る態様)を行う。なお、このスケジュール受信表示及びメッセージ着信表示に関しては、必ずしも着信音報知を行う必要がない。基地局C Sでは、転

送先P Sから「応答信号」を受信することにより、転送元P Sに対して「応答信号」を送信し、以後、転送元P Sと転送先P Sとは通話可能となる。

【0048】なお、上記実施例では、PHS移動端末等の無線通信端末を前提とした場合のスケジュールデータ送受信機能について説明してきたが、本発明は、発サブアドレス情報及び着サブアドレス情報を用いた通信手順を持つ通信端末全般に利用できるものであり、有線通信端末か無線通信端末かを問うものではない。

10 【0049】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、スケジュールデータをスケジューラに登録できるデータフォーマットに変換して相手先端末に送信する機能を具備したため、相手先端末にスケジュールデータを送信する場合、スケジュールデータが登録済みのものか新規に作成するものかに拘わらず、該スケジュールデータをメールデータとして入力する操作が不要になる。

【0050】また、本発明では、受信メールデータをスケジュールデータに変換して登録する機能を具備したため、相手先端末からメールデータを受信した場合、該受信メールデータをスケジュールデータに変換して登録でき、受信メールデータをスケジュールデータとして入力し直す必要が無く、利便性に富む。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係わるPHS移動端末の一実施の形態を示すブロック図。

【図2】PHS移動端末のスケジュールデータ送信動作を示すフローチャート。

【図3】スケジュールデータ送信に用いる呼設定情報のフォーマットを示す図。

【図4】PHS移動端末のスケジュールデータ受信動作を示すフローチャート。

【図5】PHS移動端末間のスケジュールデータ送受信制御シーケンスを示す図。

【符号の説明】

100 PHS (Personal Handyphone System) 移動端末

1 無線部

11 アンテナ

40 12 高周波スイッチ(SW)

13 受信部

14 周波数シンセサイザ

15 送信部

16 受信電界強度検出部(RSSI)

2 モデム部

21 復調部

22 変調部

3 TDMA (Time Division Multiple Access) 部

31 TDMAデコード部

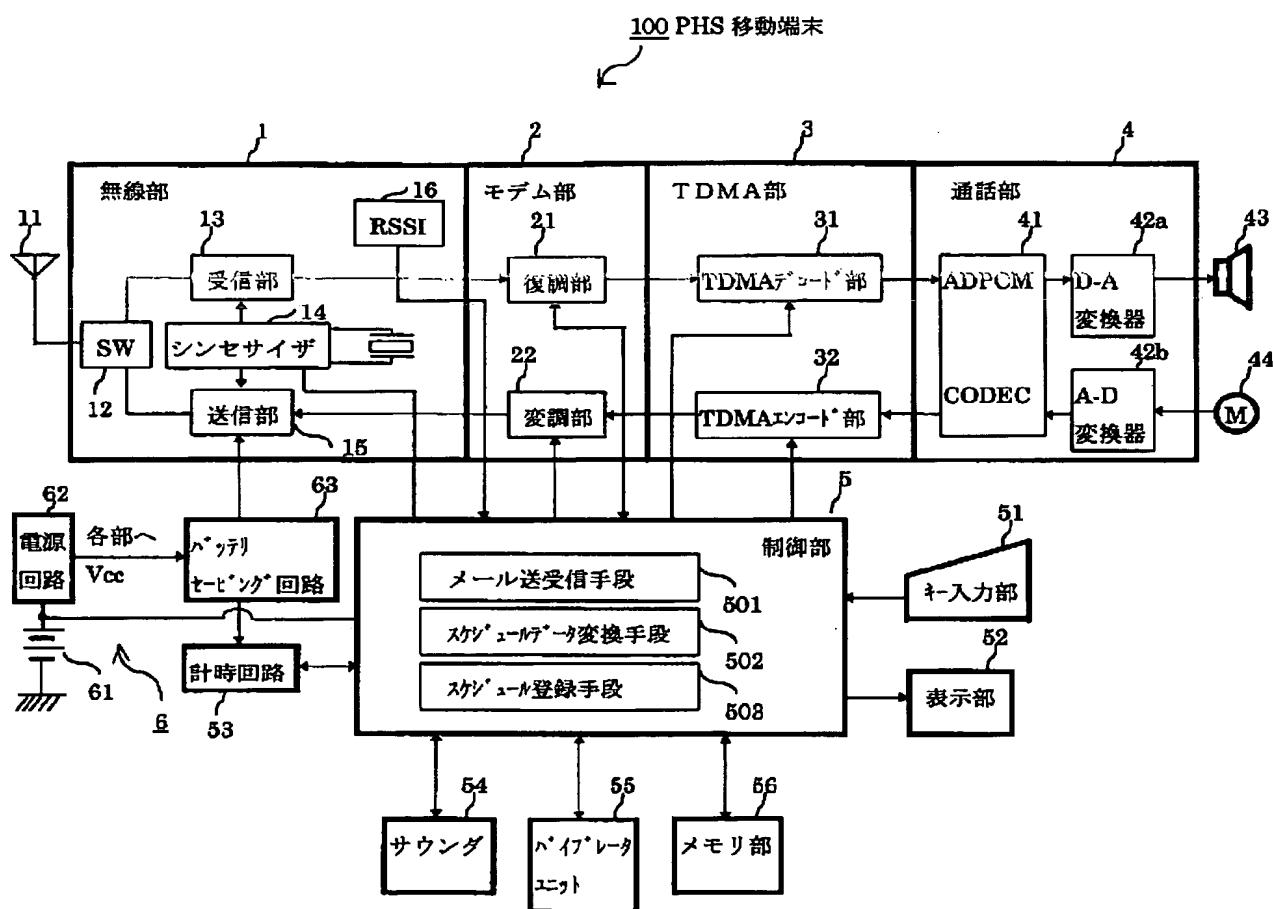
32 TDMAエンコード部

50

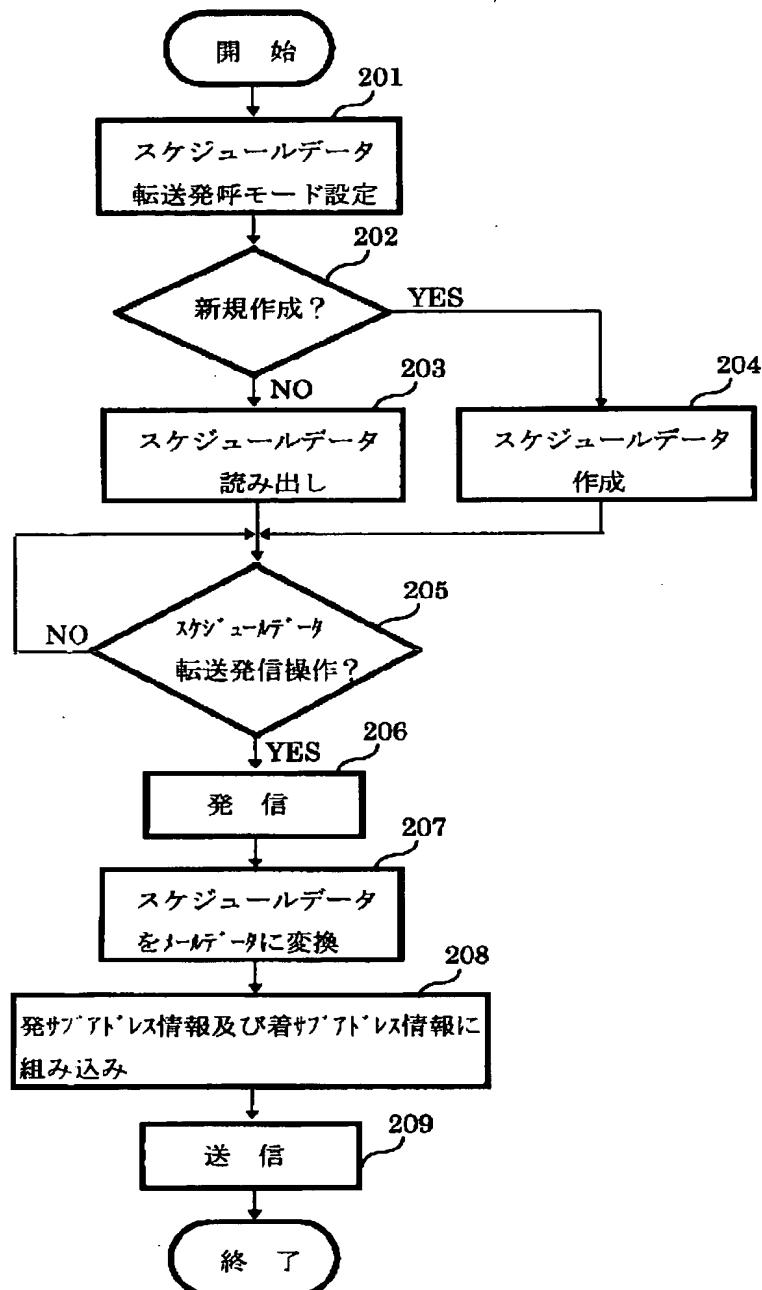
4 通話部
 4 1 適応差分PCMコーデック (ADPCM-COD
 EC)
 4 2 a D/A変換器
 4 2 b A/D変換器
 4 3 スピーカ
 4 4 マイクロホン
 5 制御部
 5 0 1 メール送受信手段
 5 0 2 スケジュールデータ変換手段
 5 0 3 スケジュール登録手段

5 1 キー入力部
 5 2 表示部
 5 3 計時回路
 5 4 サウンド
 5 5 バイブレータユニット
 5 6 メモリ部
 6 電源部
 6 1 バッテリ
 6 2 電源回路
 10 6 3 バッテリセービング回路

【図1】



【図2】



【図3】

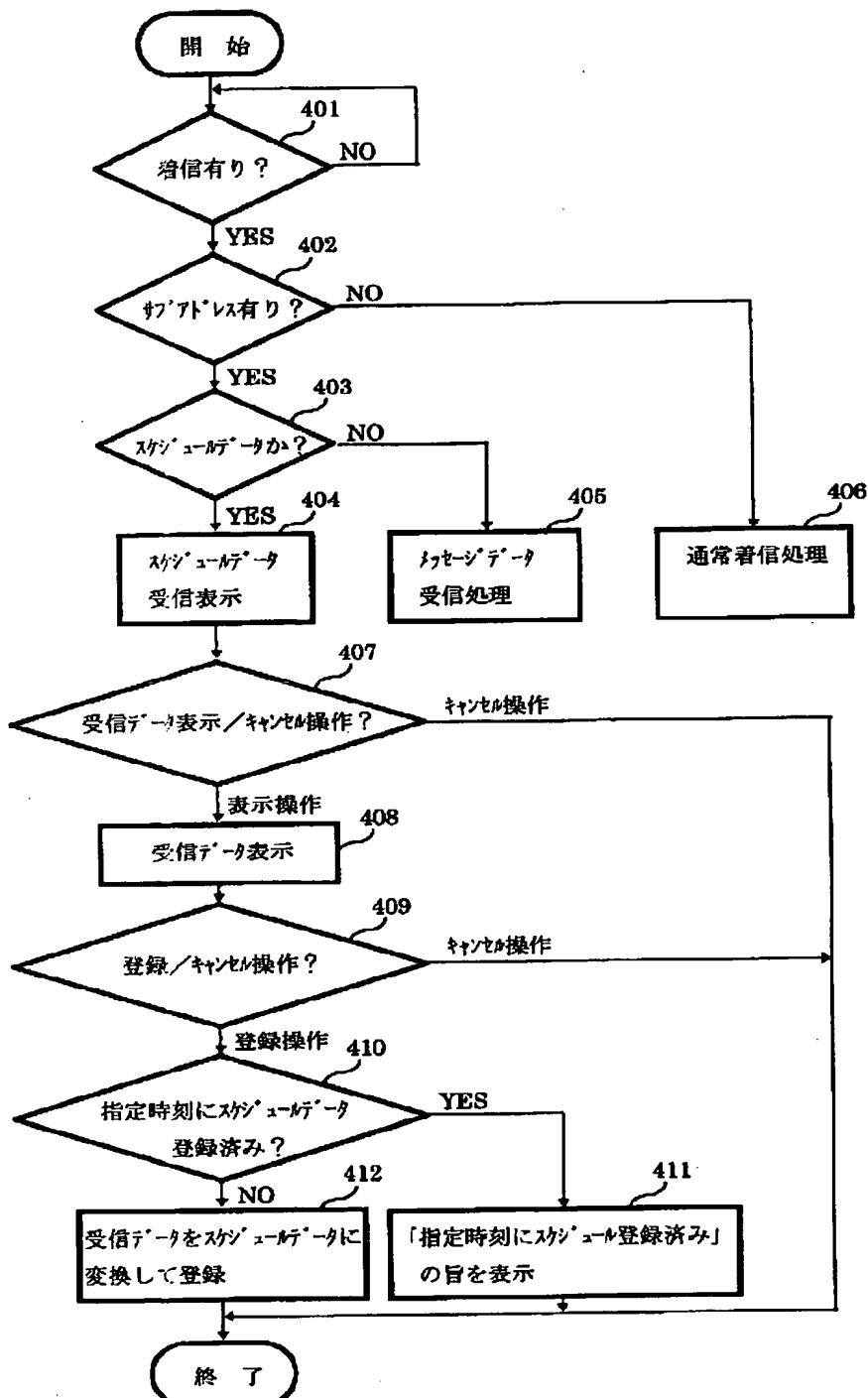
発サブアドレス情報要素識別子

Oct1	0 1 1 0 1 1 0 1
Oct2	内容長
Oct3	0 0 0 1 0 0 1 0
Oct4	サブ種別
Oct5	1 0 1 0 0 0 0 0
Oct6	識別コード
Oct7	
Oct8	
Oct9	
Oct10	予約 每情報
Oct11	0 0 0 0 * * * *
Oct12	年情報(千位) 年情報(百位)
Oct13	* * * * * * * *
Oct14	年情報(十位) 年情報(一位)
Oct15	* * * * * * * *
Oct16	月情報(上位) 月情報(下位)
Oct17	* * * * * * * *
Oct18	日情報(上位) 日情報(下位)
Oct19	* * * * * * * *
Oct20	時情報(上位) 時情報(下位)
Oct21	* * * * * * * *
Oct22	分情報(上位) 分情報(下位)
Oct23	* * * * * * * *
Oct24	イラストパターン
Oct25	* * * * * * * *
Oct26	メロディパターン
Oct27	* * * * * * * *
Oct28	
Oct29	
Oct30	
Oct31	
Oct32	
Oct33	
Oct34	
Oct35	
Oct36	
Oct37	
Oct38	
Oct39	
Oct40	
Oct41	
Oct42	
Oct43	
Oct44	
Oct45	
Oct46	
Oct47	
Oct48	
Oct49	
Oct50	
Oct51	
Oct52	
Oct53	
Oct54	
Oct55	
Oct56	
Oct57	
Oct58	
Oct59	
Oct60	
Oct61	
Oct62	
Oct63	
Oct64	
Oct65	
Oct66	
Oct67	
Oct68	
Oct69	
Oct70	
Oct71	
Oct72	
Oct73	
Oct74	
Oct75	
Oct76	
Oct77	
Oct78	
Oct79	
Oct80	
Oct81	
Oct82	
Oct83	
Oct84	
Oct85	
Oct86	
Oct87	
Oct88	
Oct89	
Oct90	
Oct91	
Oct92	
Oct93	
Oct94	
Oct95	
Oct96	
Oct97	
Oct98	
Oct99	
Oct100	
Oct101	
Oct102	
Oct103	
Oct104	
Oct105	
Oct106	
Oct107	
Oct108	
Oct109	
Oct110	
Oct111	
Oct112	
Oct113	
Oct114	
Oct115	
Oct116	
Oct117	
Oct118	
Oct119	
Oct120	
Oct121	
Oct122	
Oct123	
Oct124	
Oct125	
Oct126	
Oct127	
Oct128	
Oct129	
Oct130	
Oct131	
Oct132	
Oct133	
Oct134	
Oct135	
Oct136	
Oct137	
Oct138	
Oct139	
Oct140	
Oct141	
Oct142	
Oct143	
Oct144	
Oct145	
Oct146	
Oct147	
Oct148	
Oct149	
Oct150	
Oct151	
Oct152	
Oct153	
Oct154	
Oct155	
Oct156	
Oct157	
Oct158	
Oct159	
Oct160	
Oct161	
Oct162	
Oct163	
Oct164	
Oct165	
Oct166	
Oct167	
Oct168	
Oct169	
Oct170	
Oct171	
Oct172	
Oct173	
Oct174	
Oct175	
Oct176	
Oct177	
Oct178	
Oct179	
Oct180	
Oct181	
Oct182	
Oct183	
Oct184	
Oct185	
Oct186	
Oct187	
Oct188	
Oct189	
Oct190	
Oct191	
Oct192	
Oct193	
Oct194	
Oct195	
Oct196	
Oct197	
Oct198	
Oct199	
Oct200	
Oct201	
Oct202	
Oct203	
Oct204	
Oct205	
Oct206	
Oct207	
Oct208	
Oct209	
Oct210	
Oct211	
Oct212	
Oct213	
Oct214	
Oct215	
Oct216	
Oct217	
Oct218	
Oct219	
Oct220	
Oct221	
Oct222	
Oct223	
Oct224	
Oct225	
Oct226	
Oct227	
Oct228	
Oct229	
Oct230	
Oct231	
Oct232	
Oct233	
Oct234	
Oct235	
Oct236	
Oct237	
Oct238	
Oct239	
Oct240	
Oct241	
Oct242	
Oct243	
Oct244	
Oct245	
Oct246	
Oct247	
Oct248	
Oct249	
Oct250	
Oct251	
Oct252	
Oct253	
Oct254	
Oct255	
Oct256	
Oct257	
Oct258	
Oct259	
Oct260	
Oct261	
Oct262	
Oct263	
Oct264	
Oct265	
Oct266	
Oct267	
Oct268	
Oct269	
Oct270	
Oct271	
Oct272	
Oct273	
Oct274	
Oct275	
Oct276	
Oct277	
Oct278	
Oct279	
Oct280	
Oct281	
Oct282	
Oct283	
Oct284	
Oct285	
Oct286	
Oct287	
Oct288	
Oct289	
Oct290	
Oct291	
Oct292	
Oct293	
Oct294	
Oct295	
Oct296	
Oct297	
Oct298	
Oct299	
Oct300	
Oct301	
Oct302	
Oct303	
Oct304	
Oct305	
Oct306	
Oct307	
Oct308	
Oct309	
Oct310	
Oct311	
Oct312	
Oct313	
Oct314	
Oct315	
Oct316	
Oct317	
Oct318	
Oct319	
Oct320	
Oct321	
Oct322	
Oct323	
Oct324	
Oct325	
Oct326	
Oct327	
Oct328	
Oct329	
Oct330	
Oct331	
Oct332	
Oct333	
Oct334	
Oct335	
Oct336	
Oct337	
Oct338	
Oct339	
Oct340	
Oct341	
Oct342	
Oct343	
Oct344	
Oct345	
Oct346	
Oct347	
Oct348	
Oct349	
Oct350	
Oct351	
Oct352	
Oct353	
Oct354	
Oct355	
Oct356	
Oct357	
Oct358	
Oct359	
Oct360	
Oct361	
Oct362	
Oct363	
Oct364	
Oct365	
Oct366	
Oct367	
Oct368	
Oct369	
Oct370	
Oct371	
Oct372	
Oct373	
Oct374	
Oct375	
Oct376	
Oct377	
Oct378	
Oct379	
Oct380	
Oct381	
Oct382	
Oct383	
Oct384	
Oct385	
Oct386	
Oct387	
Oct388	
Oct389	
Oct390	
Oct391	
Oct392	
Oct393	
Oct394	
Oct395	
Oct396	
Oct397	
Oct398	
Oct399	
Oct400	
Oct401	
Oct402	
Oct403	
Oct404	
Oct405	
Oct406	
Oct407	
Oct408	
Oct409	
Oct410	
Oct411	
Oct412	
Oct413	
Oct414	
Oct415	
Oct416	
Oct417	
Oct418	
Oct419	
Oct420	
Oct421	
Oct422	
Oct423	
Oct424	
Oct425	
Oct426	
Oct427	
Oct428	
Oct429	
Oct430	
Oct431	
Oct432	
Oct433	
Oct434	
Oct435	
Oct436	
Oct437	
Oct438	
Oct439	
Oct440	
Oct441	
Oct442	
Oct443	
Oct444	
Oct445	
Oct446	
Oct447	
Oct448	
Oct449	
Oct450	
Oct451	
Oct452	
Oct453	
Oct454	
Oct455	
Oct456	
Oct457	
Oct458	
Oct459	
Oct460	
Oct461	
Oct462	
Oct463	
Oct464	
Oct465	
Oct466	
Oct467	
Oct468	
Oct469	
Oct470	
Oct471	
Oct472	
Oct473	
Oct474	
Oct475	
Oct476	
Oct477	
Oct478	
Oct479	
Oct480	
Oct481	
Oct482	
Oct483	
Oct484	
Oct485	
Oct486	
Oct487	
Oct488	
Oct489	
Oct490	
Oct491	
Oct492	
Oct493	
Oct494	
Oct495	
Oct496	
Oct497	
Oct498	
Oct499	
Oct500	
Oct501	
Oct502	
Oct503	
Oct504	
Oct505	
Oct506	
Oct507	
Oct508	
Oct509	
Oct510	
Oct511	
Oct512	
Oct513	
Oct514	
Oct515	
Oct516	
Oct517	
Oct518	
Oct519	
Oct520	
Oct521	
Oct522	
Oct523	
Oct524	
Oct525	
Oct526	
Oct527	
Oct528	
Oct529	
Oct530	
Oct531	
Oct532	
Oct533	
Oct534	
Oct535	
Oct536	
Oct537	
Oct538	
Oct539	
Oct540	
Oct541	
Oct542	
Oct543	
Oct544	
Oct545	
Oct546	
Oct547	
Oct548	
Oct549	
Oct550	
Oct551	
Oct552	
Oct553	
Oct554	
Oct555	
Oct556	
Oct557	
Oct558	
Oct559	
Oct560	
Oct561	
Oct562	
Oct563	
Oct564	
Oct565	
Oct566	
Oct567	
Oct568	
Oct569	
Oct570	
Oct571	
Oct572	
Oct573	
Oct574	
Oct575	
Oct576	
Oct577	
Oct578	
Oct579	
Oct580	
Oct581	
Oct582	
Oct583	
Oct584	
Oct585	
Oct586	
Oct587	
Oct588	
Oct589	
Oct590	
Oct591	
Oct592	
Oct593	
Oct594	
Oct595	
Oct596	
Oct597	
Oct598	
Oct599	
Oct600	

着サブアドレス情報要素識別子

Oct1	0 1 1 0 0 0 1
Oct2	内容長
Oct3	0 0 0 1 0 0 0 0
Oct4	サブ種別
Oct5	1 0 1 0 0 0 0 0
Oct6	識別コード
Oct7	
Oct8	
Oct9	
Oct10	
Oct11	
Oct12	
Oct13	
Oct14	
Oct15	
Oct16	
Oct17	
Oct18	
Oct19	
Oct20	
Oct21	
Oct22	
Oct23	
Oct24	
Oct25	
Oct26	
Oct27	
Oct28	
Oct29	
Oct30	
Oct31	
Oct32	
Oct33	
Oct34	
Oct35	
Oct36	
Oct37	
Oct38	
Oct39	
Oct40	
Oct41	
Oct42	
Oct43	
Oct44	
Oct45	
Oct46	
Oct47	
Oct48	
Oct49	
Oct50	
Oct51	
Oct52	
Oct53	
Oct54	

【図4】



【図5】

